３．２３首都圏建設アスベスト集会

事務所ではアスベスト問題に取り組んでいる。

首都圏建設アスベスト訴訟は提訴から今年で１０年目。去る３月１４日、東京高裁で、国の責任を８度断罪する判決が言い渡された。しかも、被用者のみならず、一人親方や中小事業者も救済する内容だ。

３月２３日・日比谷野外音楽堂で、アスベスト被害の早期救済制度、アスベスト製造企業からも資金を出させて基金を作る制度の創設を求めて、大集会が開催された。与野党問わず、議員、秘書が参加され、全建総連吉田委員長（建設埼玉出身）も力強い挨拶をされた。
工場アスベストに続き、建設アスベストも被害救済に向けて、大きな前進をする一年になる。

弁護士□髙木□太郎

地域活性化に最低賃金・公契約

日弁連貧困問題対策本部において、青森県（2016年10月）及び鳥取県（2017年２月）の労働局、経営者団体、労働組合、最低賃金総合相談支援センターに訪問調査を行いました。
その際の調査結果の概要を報告し、最賃の引上げに向けた法制度と運用面の課題について論じました「反貧困と最賃～調査からみえる、最低賃金引上げに向けた法制度と運用面の課題」（月刊全労連2017年12月号掲載）が、ウェブ上で公開されました。

貧困と格差の拡大を止め、疲弊する地域の活性化を促すためにも、最低賃金が果たす役割は重要です。

最低賃金・公契約条例の特集号です。
是非、ご一読ください。→こちら

弁護士 猪股正

芸術は爆発だ

しばらく前のことですが、家族がバースデーケーキを作ってくれました。

小さな姪は張り切って飾り付けをし、できあがったケーキを見ると・・・

クリームの上には全てのイチゴが裏返しに並べられていたのでした。

GREAT！！

弁護士□谷川□生子

白鳥の首

先週の3月14日、東京高等裁判所で、建設アスベスト事件という原告数300名を超える大規模訴訟の判決がありました。

当日、判決は15時からでしたが、遅れるわけにはいかないと早めに出発し、東京駅に相当早く到着したため、皇居周辺を通って東京高等裁判所まで歩いていきました（東京駅から東京高等裁判所までは緑が多く、道も歩きやすくて気持ちがよいので、時間がある時はよく歩きます。）。

「被害者が救われる判決がだされるだろうか・・・。」、緊張しながらお堀の横を歩いていると、池に白鳥が浮かんでいました。

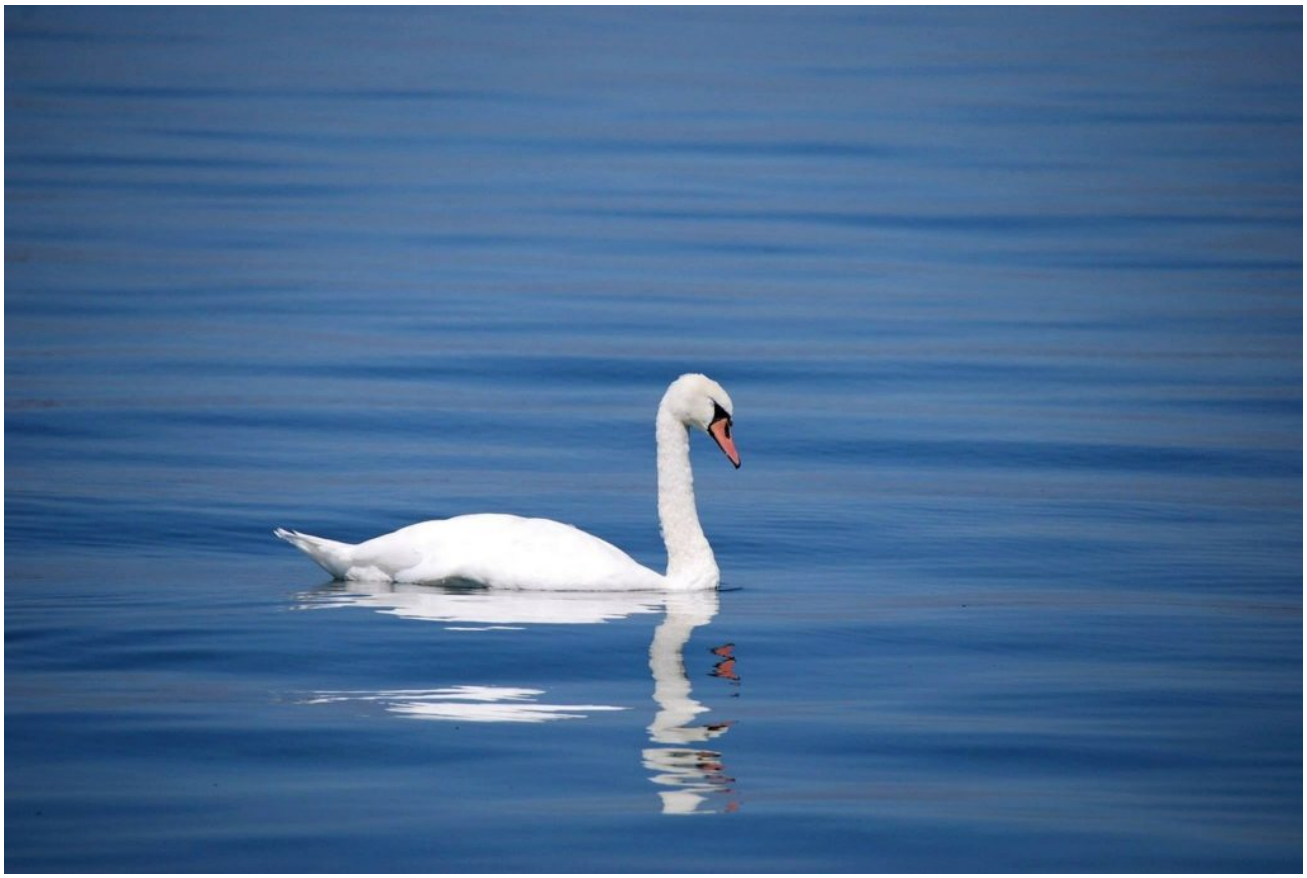
「ああ、白鳥だ。」と思い、そのまま通り過ぎましたが、なんだか違和感を受けました。そして、しばらく歩いた後、違和感の正体に気が付き、はっとしてお堀まで戻り確認しました。

白鳥の首って、太い。

長いというよりも、太い。
あれ、長さがあるから分かりにくいですが相当太いですよ。成人男性の腕くらいはあります。

建設アスベスト事件は、ひろく被害者が救済される画期的な判決がでましたが、まだ十分なものではありません。被害者の適切な救済にむけ今後も頑張ります。

弁護士竹内和正



□□□□

□□□

ネットで、ある新聞記事を検索した。

埼玉県秩父郡の小鹿野町議会が、「森友学園」を巡る決裁文書改ざんに抗議し、「公文書を改ざんすることは『国権の最高機関』である国会と国民を欺く許されない行為」とし疑惑の徹底解明を求めるなどとする意見書案を全会一致で可決したという東京新聞の記事である。まっとうな意見表明だ。

ふと、この記事の下を見ると、

＜ひと物語＞農ある暮らしを実践□「雨読晴耕村舎」代表・後藤雅浩さん（3月19日）

「農ある暮らし」を唱え、持続可能な循環型社会や子どもたちが情緒豊かに育つことができる環境などを目指している。

ウマキンのことである。

偶然に驚き、人と人の縁の不思議さや大切さを思い、

離れてはいるが、仲間を思い、勇気付けられている。

（弁護□士 猪□股□正）

＜文中の記事など＞

東京新聞２０１８年3月１９日□＜ひと物語＞農ある暮らしを実践□「雨読晴耕村舎」代表・後藤雅浩さん

東京新聞２０１８年3月１７日□森友改ざん「国民欺く行為許さない」□小鹿野町議会が意見書可決

ニンジンジュース、ほっとジンジャー、ハチミツ梅エキスなどの注文→こちら

（雨読晴耕村舎のブログから）

ブルーノート東京

日本のジャズライブの殿堂、ブルーノート東京をご存じでしょうか。

南青山にあります。

開演前

絶賛アドリブソロ中!

弁護士牧野丘

５時２８分の電車

朝５時２８分の電車に愛着がある。

これに乗ると、６時３０分には高尾山の麓に着く不思議。

西国分寺で武蔵野線から中央線に乗り換える。
夜通し働き続けた人や飲み明かした人が、ぐったりとして眠り込んでいる。

夜明け間際の吉野屋では、化粧のはげかけたシティ・ガールと、ベィビィ・フェイスの狼たちが肘をついて眠る…
中島みゆきの「狼になりたい」が頭をめぐる。

弁護士 猪股正

早稲田駅伝

先月、知り合いの司法書士の先生にお誘い頂き早稲田駅伝に出場しました。

早稲田駅伝とは、主に早稲田大学OB・OGが5人1組のチームを組んで各々1区から5区までを走る駅伝大会です。
私は華の2区ということで、一番長い区間の６．２５キロを走りました。
周りの出場者の早いペースにつられて中々苦しい思いをしましたが、タイムは31分23秒ということで、自分でも納得の走りができました。

早稲田大学中退のサンプラザ中野くんさんがゲスト出演し、名曲『Runner』を生で聴けるなど充実した大会でした。

弁護士 鴨田譲

バーニー・サンダースの世界変革マニフェスト

公正な税制を求める市民連絡会で、一緒に取り組みをしている合田寛さんが紹介してくれました。
勇気を鼓舞されます。

バーニー・サンダースは英紙ガーディアンに世界変革のためのマニフェストを投稿しました。
その内容はマルクスのちょうど170年前の「共産党宣言」を彷彿させる抑圧された世界の人たちへの力強い呼びかけです。
宣言はこのように主張しています。

この100年、ごく少数の富裕者がそれ以外の圧倒的多数の人々の生活を支配してきた。富の極端な集中と不平等のために、世界の人々は民主主義に対する信頼を失いつつある。この結果、世界は権威主義と極右の台頭を許し、他方、左翼からも民族主義の憎しみの炎が燃え上がっている。
民主主義を信じる我々は憎しみと対立の代わりに、希望と連帯のメッセージを世界に提供しなければならない。新しい国際運動は国内および国際的な構造的不平等とたたかう。ローマ教皇が述べたように「貨幣への崇拝」、「適者生存」の考え方を克服しなければならない。
今は世界史の転換点だ。技術の目覚ましい発展によって、われわれはグローバルな富をもっと公正に増加させる能力を有している。貧困をなくし、よりよい生活と地球環境を実現する手段は我々の手にある。
タックス・ジャスティス・ネットワークはタックスヘイブンに税を逃れてため込まれた資金を21~32兆ドルと推定しているが、我々がタックスヘイブンをなくすためにたたかえば、そこから生み出される収入は、世界の飢餓をなくし、人々に仕事を与え、極端な不平等をなくすために使うことができる。
それは我々がともに立ち上がり、力ある権力者に立ち向かう勇気を持つならば可能だ。我々の子供たち、孫たち、そしてこの地球のためにやらなければならないことだ。（合□寛2018.1.17）

弁護士□猪股□正

（記事に関連するリンク）
公正な税制を求める市民連絡会のホームページ
公正な税制を求める市民連絡会Facebookページ
バーニー・サンダース□ツイッター

憲法について考える

先日、事務所の先輩弁護士とともに埼玉協同病院で憲法の学習会の講師を担当させていただきました。

□□□